区民向けアンケート調査設問及び選択肢一覧（案）

資料1-2

番号	設問項目	該当する目標	事業所の類似設問	前回調査時に類似内容あり
Q1	近年、酷暑や大雨等の異常気象が続いていますが、これらの気候変動をもたらす環境問題に関心がありますか。	全般（課題認識・将来像）		○
	1. 関心がある			
	2. どちらかといえば関心がある			
	3. どちらかといえば関心がない			
	4. 関心がない			
Q2	あなたが区に強化してほしい施策は何ですか。（3つまで）	全般（課題認識・将来像）	Q1	
	1. 再生可能エネルギーの普及			
	2. 住宅や建物の省エネ促進			
	3. 夏の暑さや熱中症対策			
	4. ごみの減量やリサイクルの促進			
	5. 食品ロス対策の強化			
	6. 使い捨てプラスチックの削減やリサイクルの促進			
	7. 大気汚染や騒音による生活環境悪化への対応			
	8. 環境に関する情報や環境について学ぶ機会の拡充			
	9. 強化してほしい施策は特にない			
	10. その他（自由記述）			
Q3	あなた自身の暮らしに最も影響している環境問題は何ですか。（3つまで）	全般（課題認識・将来像）		
	1. 夏の暑さや豪雨等の異常気象			
	2. 農作物をはじめとする食べ物への影響			
	3. 電気・ガス代などの上昇			
	4. 水不足			
	5. プラスチックごみが多いこと			
	6. ごみの不適正排出やごみの量が多い等のごみ問題			
	7. 食べ残しが多いこと			
	8. 大気汚染や騒音等による生活環境の悪化			
	9. 将来世代が安心して暮らせる環境を残せるか			
	10. 影響している環境問題は特にない			
	11. その他（自由記述）			
Q4	あなたは、日常生活で環境に配慮した行動をどの程度行っていますか。（1つ）	全般（課題認識・将来像）		
	1. かなり行っている			
	2. ある程度行っている			
	3. あまり行っていない			
	4. 行っていない			
	5. わからない			
Q4-1	あなたが現在行っている環境に配慮した行動は何ですか。（あてはまるものをすべて）	全般（課題認識・将来像）		
	1. 太陽光パネル等の発電設備の設置			
	2. 再生可能エネルギー電力の契約			
	3. こまめな消灯や、エアコンの設定温度の工夫などの省エネ・節電行動			
	4. LED照明の使用			
	5. 節水			
	6. マイバッグの利用			
	7. マイボトル・マイカップの利用			
	8. ごみの分別			
	9. 食品ロスを減らす工夫			
	10. 詰め替え製品の利用			
	11. リユース（再利用）やリペア（修理）等により、物を長く使用			
	12. 徒歩・自転車・公共交通の利用			
	13. 電動車（ハイブリッド自動車含む）の購入やカーシェアリングの利用			
	14. 特にしていない			
	15. その他（自由記述）			

番号	設問項目	該当する目標	事業所の類似設問	前回調査時に類似内容あり
Q4-2	1.～13.及び15.のいずれか１つでも選んだ方に伺います。 あなたが環境に配慮した行動をするようになったきっかけは何ですか。（あてはまるものすべて）	全般（課題認識・将来像）		
	1. 学校の授業や職場の研修で学んだから			
	2. ニュースや報道を見て、環境問題への関心が高まったから			
	3. インターネットやSNS等で環境問題について目にする機会が増えたから			
	4. 大雨や猛暑などの気候変動により、生活に影響が出ているから			
	5. 光熱費や物価の上昇により節約を意識しているから			
	6. 区が開催する講座やセミナー、講演会等で学んだから			
	7. 民間企業やNPO法人等が開催する講座やセミナー、講演会等で学んだから			
	8. 家族や知人の話を聞いたから			
	9. その他（自由記述）			
Q5	あなたのお住まいで導入している再エネ・省エネはどのような取組ですか。（あてはまるものすべて）	地球温暖化対策	Q3	○
	1. 再生可能エネルギー電力を契約している			
	2. 再生可能エネルギー発電設備（太陽光発電設備）を導入している			
	3. 省エネルギー機器等（高効率給湯機器や断熱窓等）を導入している			
	4. 再エネ・省エネの取組に関心はあるが、導入していない			
	5. 導入していない（今後も導入するつもりはない）			
Q5-1	「4. 再エネ・省エネの取組に関心はあるが、導入していない」または「5. 導入していない（今後も導入するつもりはない）」と答えた方に伺います。 現在のお住まいで①再生可能エネルギー電力を契約していない、②再生可能エネルギー発電設備や省エネルギー機器等を導入していない理由は何ですか。（①、②それぞれあてはまるものをすべて）	地球温暖化対策	Q3-1	○
①再生可能エネルギー電力を契約していない理由				
	1.導入するメリットがよくわからないから			
	2.現在契約している電力会社のほうが安心できるから			
	3.電気料金が高くなりそうだから			
	4.手続きの仕方がわからないから			
	5.手続きが面倒だから			
	6.どの電力会社を選べばよいかわからないから			
	7.入居しているビル等で一括受電（契約）しており変更できないから			
	8.電力会社や費用などの情報が不足しているから			
	9.興味・関心がないから			
	10.今後、近いうちに導入する予定があるから			
	11. その他（自由記述）			
②再生可能エネルギー発電設備や省エネルギー機器等を導入していない理由				
	1.初期費用が高いから			
	2.設置後の管理費用がかかるから			
	3.設置しても十分な発電量や省エネ効果が期待できないと思うから			
	4.設置できる場所がないから			
	5.導入するメリットがよくわからないから			
	6.賃貸住宅や集合住宅であるため、自分の判断のみで設置できないから			
	7.設置を依頼する業者、費用などの情報が不足しているから			
	8.補助金・助成制度がわかりにくい、または利用しにくいから			
	9.興味・関心がないから			
	10.今後、近いうちに導入する予定があるから			
	11. その他（自由記述）			

番号	設問項目	該当する目標	事業所の類似設問	前回調査時に類似内容あり
Q6	区からどのような支援があれば、再生可能エネルギーの導入に取り組みやすくなると思いますか。（3つまで）	地球温暖化対策	Q4	
	1. 補助金			
	2. 制度や手続きの説明			
	3. 導入事例の紹介			
	4. 専門家への相談			
	5. 所有者との調整支援			
	6. 共同調達・共同購入			
	7. 特にない			
	8. その他（自由記述）			
Q7	既存の集合住宅や賃貸住宅でも再生可能エネルギーの導入等を進めやすくするため、あなたが特に必要だと思うことは何ですか。（2つまで）	地球温暖化対策		
	1. 管理組合、物件オーナーの普及啓発（取組の方法、環境面以外の効果など）			
	2. 集合住宅・賃貸住宅を対象とした省エネ診断、アドバイザー派遣			
	3. 集合住宅・賃貸住宅の断熱化等に活用できる補助金の情報提供			
	4. 居住者（区分所有者、借り手）が実行できる省エネ・再エネ利用の情報提供			
	5. 省エネ性能ラベル表示制度の普及による買い手・借り手の意識醸成			
	6. 既存の集合住宅・賃貸住宅への対策は必要ない			
	7. その他（自由記述）			
Q8	区では、2050年までに区内のCO_2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けて取り組んでいます。 「ゼロカーボンシティ新宿」の実現に向けた区の姿勢として、あなたが最も期待するものを選択してください。	地球温暖化対策	Q5	
	1. CO_2排出削減に向けた取組（例：省エネ、再エネ等）を重点的に推進			
	2. CO_2吸収増大に向けた取組（例：カーボン・オフセット、J-クレジット等）を重点的に推			
	3. CO_2排出削減及び吸収増大に向けた取組の両方を推進			
	4. その他（自由記述）			
Q9	プラスチックごみ削減について、あなたが困っていることや続けにくいことは何ですか。（あてはまるものをすべて）	資源循環		
	1. 何をすればよいか分かりにくい			
	2. 手間がかかる			
	3. 費用がかかる			
	4. 続けるのが難しい			
	5. 家族の協力が得にくい			
	6. 特に困っていない			
	7. プラスチック以外の、環境に配慮した素材で作られた製品が少ない			
	8. その他（自由記述）			
Q10	あなたは、容器包装プラスチックやプラスチック製品を、燃やすごみとして捨てたことがありますか。	資源循環		
	1. 捨てたことがある			
	2. 捨てたことはない			
	3. わからない			
Q10-1	1と答えた方に伺います。あなたが資源に分別できなかった理由は何ですか。	資源循環		
	1. 対象となる容器包装プラスチックやプラスチック製品がわからないから			
	2. 素材がプラスチックだけでできているかわからないから			
	3. 汚れをとるのが大変だから			
	4. 汚れをどの程度とればよいかわからないから			
	5. 回収日まで保管しておく場所がないから			
	6. 資源として分けるのが大変だから			
	7. その他（自由記述）			

番号	設問項目	該当する目標	事業所の類似設問	前回調査時に類似内容あり
Q11	騒音、異臭、ごみのポイ捨てなど、生活環境に関わることで、日常生活に影響があり、改善してほしいと感じることはありますか。（あてはまるものをすべて）	生活環境		
	1. 近隣の店舗・事業所等の施設や住宅からの騒音や悪臭			
	2. 建設現場からの騒音や振動			
	3. 自動車の通行に伴う騒音や振動			
	4. 河川（神田川、妙正寺川）の水質、臭い			
	5. ごみのポイ捨て（たばこの吸い殻も含む）			
	6. 粗大ごみ、家電などの不法投棄			
	7. 路上喫煙			
	8. ペットのフンや尿			
	9. 特にない			
	10. その他（自由記述）			
Q12	環境に関する問題や環境に配慮した取組について知るために、あなたはどのような情報や機会の充実を望みますか。（3つまで）	環境学習		
	1. 広報新宿やホームページ等による情報			
	2. 動画（YouTubeなど）による情報			
	3. SNS（X、Instagramなど）や新宿区LINE公式アカウントによる情報			
	4. 区有施設で行われる講座			
	5. 特にない			
	6. その他（自由記述）			
Q13	国は、「第六次環境基本計画」（令和６年５月閣議決定）において、単に環境保全を行うことが重要なのではなく、「環境の保全を通じて、国民一人一人の生活の質、幸福度が向上する」ことを最終目標として設定しました。 このことについて、あなたはどのように感じますか。	全般（課題認識・将来像）	Q13	
	1. とても共感する			
	2. ある程度共感する			
	3. あまり共感しない			
	4. 共感しない			
	5. どちらともいえない			
	6. わからない			
Q13-1	1.または2.と答えた方に伺います。 国が目指す方向に近づくために、区はどのような取組を進める必要があると思いますか。 あなたが特に重要だと思うものを１つ選んでください。	全般（課題認識・将来像）	Q13-1	
	1. 環境に配慮することが健康、快適な住環境の実現などにつながることの周知			
	2. 環境に配慮することが、家計の負担軽減や地域経済の活性化につながる取組			
	3. みどりや自然、きれいな空気など、身近な環境から心豊かに暮らせるまちづくりを進める			
	4. 環境を守る取組を通じて、地域のつながりや人々が支え合う機会を増やす			
	5. 環境・防災・健康・地域づくりなどを一体的に進め、暮らしの安心や豊かさを高める			
	6. 自然とのふれあいを通じた健康増進			
	7. 年齢に関係なく、環境問題について学べる場や機会を増やす			
	8. わからない			
	9. その他（自由記述）			
Q14	あなたが新宿区の10年後の環境像に望むことや、区に特に力を入れてほしいことを自由にお書きください。（自由記述）	全般（課題認識・将来像）	Q14	

本票は調査票の形式ではありませんが、同一の内容を、調査票の形式に記載します。
なお、調査票には、語句の説明等の補足を記載予定です。